

# 環境方針

## 基本理念

研究開発グループは、地球環境の保全が人類共通の最重要課題の一つであることを認識し、日立グループ環境ビジョン「日立は、ステークホルダーとの協創による社会イノベーション事業を通じて、環境課題を解決し、生活の質の向上と持続可能な社会の両立を実現する。」のもと策定された、環境長期目標「日立環境イノベーション 2050」\*の達成に向け、社会が抱える課題を深く理解し、顧客と持続的に協創し、将来ビジョンを共有した顧客起点の研究開発を推進する。

\*日立環境イノベーション 2050：2050年をターゲットに低炭素社会・高度循環社会・自然共生社会を実現

## 基本方針

### 「 Environment Conscious R&D for the Future 」

#### (未来型環境配慮 R&D をめざして)

をスローガンとし、以下の方針に基づき取り組む。

1. プロダクト・サービスの高効率化、低炭素エネルギーの開発に加え、CO<sub>2</sub>排出量の削減に繋がる革新的技術・ソリューションを創出し、低炭素社会の実現に貢献する。
2. 資源の循環利用を拡大するソリューションの提供によりサービス事業創生に貢献するとともに、資源の効率的な利用・リサイクルの徹底により高度循環型社会をめざす。
3. 研究所内の自然環境を保全し自然との共生に努めるとともに、研究開発の過程で生じる環境負荷を低減し、環境汚染の発生を防止する。
4. 社会の一員であることを深く認識し、地域と対話して誠実に対応するとともに、地域の自然環境の保全に貢献する活動を推進して地域との信頼関係の向上に努める。
5. 国内外の環境関連法令や社会的規範の遵守にとどまらず、国際的な合意や地域の要請への対応にも努める。

2016年10月1日  
株式会社日立製作所 執行役常務  
CTO兼研究開発グループ長

鈴木 叔洋